

令和5年産 大雲仙トマト病害虫防除基準



令和5年 初版
JA島原雲仙南部基幹営農センター

基本的には、耕種的防除を徹底し減農薬栽培(当地比5割以上減)に努め、病害虫が発生したら下記の薬剤により防除を行う。
化学農薬の成分散布回数は27回以内(育苗時10回以内、定植後17回以内)とする。(植物成長調整剤も含む)

害虫侵入予防とマルハナ蜂導入のため、定植前にハウスのサイド、谷部、ビニールの無いところすべてに防虫ネットを必ず被覆する。又、黄色粘着板の設置を行い、減農薬栽培に努める。

時期	病害虫名	基幹防除	RACコード 分類	薬剤名	化学農薬成分回数	倍数	使用時期	総使用回数	蜂への影響	備考
は種時	コナジラミ類	★	4A	ベストガード粒剤	1回	5g/±1㎡ 1~2g	播種時 育苗期	1回	30日	育苗培土混和 株元処理
	アブラムシ		4A	アドマイヤー1粒剤	1回	1鉢1g	鉢上げ後		35~45日	株元処理
	疫病・葉かび病	★	M05	ダコニール1000	1回	1,000倍	前日	4回	1日	育苗期のみ使用
	ハスモンヨトウ・オオタバコガ		6	アフーム乳剤	1回	2,000倍	前日	5回	2日	
	コナジラミ類		4A	ベストガード水溶剤	1回	1,000~2,000倍	前日	3回	15日	
	ハモグリバエ		4A	バリアード顆粒水和剤	1回	2,000~4,000倍	前日	3回	1日	
	コナジラミ類, アブラムシ		4A	スタークル顆粒水溶剤	1回	2,000~3,000倍	前日	2回	14日以上	
			28	ベリーマークSC	1回	400株当り10~20ℓ (薬量25ml)	育苗期後半~定植当日	1回	1日	どれか1つ 使用可能
		28	ベリーマークSC	1回	400株当り20~200ℓ (薬量25ml)	定植直後(株元灌注)	1回	1日		
定植時	コナジラミ類, アブラムシ	★	28	プリロツン粒剤	1回	2g/株(株元散布)	育苗期後半~定植時	1回	1日	
			4A	モスピラン粒剤	1回	1株1g	定食時株元散布 土壌混和	1回	1~3日	
			4A	スタークル粒剤	1回	1株1~2g	育苗期株元散布~ 植穴土壌混和	1回	14日以上	マルハナへの影響注意
コナジラミ			9B	コルト顆粒水和剤	1回	4,000倍	前日	3回	西洋種3日、在来種5日	
			4C	トランスフォームフロアブル	1回	1000~2000倍	前日	2回	5日	
成虫多い場合上記農薬と混用して散布		↑	23	クリアザールフロアブル	1回	2000~4,000倍	前日	2回	1日	コナジラミ幼虫
			30	グレースシア乳剤	1回	2,000倍	前日	2回	1日	

11月以前	コナジラミ類		28	ベネビアOD	1回	2,000倍	前日	3回	1日	展着剤混用不可
			4A	モスピラン顆粒水溶剤	1回	2,000倍	前日	2回	1~3日	
			4A	モスピランジェット	1回	400㎡当り50g	前日		1日	くん煙剤
			5	ダブルシューターSE	なし	1,000倍	前日	2回	3~7日	高温混用注意
			6	アニキ乳剤	1回	1,000~2,000倍	前日	3回	1日	コナジラミ類
			6	アフーム乳剤	1回	2,000倍	前日	5回	2日	トマトサビダニ
12月	疫病	★	40	レーバソフロアブル	1回	1,500~2,000倍	前日	合計	1日	予防
			49・40	オロンディスウルトラSC	2回	2,000倍	前日	2回	0日	予防、効果長い
			27-11	ホライズンドライフロアブル	2回	1,500~2,500倍	前日	合計	1日	
			27-40	ベトファイター顆粒水和	2回	2,000倍	前日	3回	0日	
			22	エトフィンフロアブル	1回	1000倍	前日	4回	0日	
			45-40	ザンプロDMフロアブル	2回	1500倍	前日	3回	1日	
2月	灰色かび病	★	7	パレード20フロアブル	1回	2,000~4,000倍	前日	3回	1日	葉かび、うどんこ病
			11	ファンタジスタ顆粒水和剤	1回	2000~3000倍	前日	3回	1日	菌核病
			7	アフエツフロアブル	1回	2,000倍	前日	2回	1日	菌核病、葉かび病
			7	カンタスドライフロアブル	1回	1,000~1,500倍	前日	合計	0日	菌核病、葉かび病
			7-11	シグナムWDG	2回	2,000倍	前日	2回	1日	葉かび、すすかび病
			3	スコア顆粒水和剤	1回	2000	前日	3回	0日	葉かび病
3月以降	葉かび病		3	トリフミン乳剤	1回	2,000倍	前日	5回	0日	
			3	ラリー乳剤	1回	2,500~5,000倍	前日	3回	0日	
			7	ネクスターフロアブル	1回	1000倍	前日	3回	0日	うどんこ病
	灰色かび病		12	セイビアフロアブル20	1回	1,000~1,500倍	前日	3回	0日	
			10-2	シミブレンド水和剤	2回	2,000倍	前日	3回	1日	低温時薬害
	コナジラミ類	★	4C	トランスフォームフロアブル	1回	1000~2000倍	前日	2回	5日	
		28	ベネビアOD	1回	2,000倍	前日	3回	1日	展着剤混用不可	
★		9B	コルト顆粒水和剤	1回	4,000倍	前日	3回	西洋種3日、在来種5日		
敵寒期	植物成長調整剤			トマトトーン	1回	50~100倍	開花時	1花房に1回	1日	
				ジベレリン	1回	10ppm	開花時	1花房に1回	1日	

化学農薬成分回数

27回以内

農薬成分カウント及び使用回数制限無し農薬

成分	薬剤名	化学農薬成分回数	倍数	使用時期	総使用回数	蜂への影響	備考	
灰色かび病	菌	ボトキラー水和剤(ダクト内投入)	10~15g/10a/日	発病初期	-	0日		
		ボトキラー水和剤	1000倍	発病初期			0日	
葉かび病	菌	インプレッションクリア	1,000~2000倍	発病前~初期	-	0日		
		カリグリーン	800倍	前日			0日	
疫病	無機銅	コサイド3000(銅剤)	1,000倍	-	-	0日	単用	
		クリーンカップ(菌+銅)	1,000倍	前日			0日	単用
うどんこ病ダニ	硫黄	イオウフロアブル	500~1,000倍	-	-	1日	単用、汚れ注意	
オオタバコガ	菌	エスマルクドライフロアブル	1,000倍	前日			0日	
コナジラミ	調合油	サフオイル乳剤(スカッシュ1000~2000倍加用)	300倍	前日	-	0日	高温、軟弱障害	
	デンブ	粘着くん液剤	100倍	前日			0日	乾き早い
	ポリグリセリン脂肪酸エステル乳剤	フーモン	1000倍	前日			0日	高温、軟弱障害
	ソルビタン脂肪酸エステル	ムシラップ	500倍	前日			0日	高温、軟弱障害
コナジラミ忌避剤	グリセリン酢酸脂肪酸エステル	ベミデタッチ	500倍	前日	-	0日	1週間間隔で8回~12回程度	
		ダコニール ムシラップ混用不可						



- ・薬剤による土壌消毒は行わない。・ハウス内に除草剤は使用しない。
- ・表中の時期は基準であり、病害虫の発生時期に応じて上記薬剤を使用する。
- ★銅剤の散布については、酸性資材(ネイチャーエト等)との近接散布を避ける(薬害) < 上記以外の薬剤は使用しない。 >